

社団法人 日本音響学会
北 陸 支 部 設 立 総 会

期 日：2006年9月14日（木）

会 場：金沢大学総合教育棟3階B5講義室

日本音響学会北陸支部設立総会

日 時 平成18年9月14日(木) 12:30~13:00

場 所 金沢大学総合教育棟3階B5講義室

次 第

開 会

議 事

- | | | |
|-----------------------|-------|-------|
| 1. 支部設立の経緯説明(赤木) | (資料1) | 3ページ |
| 2. 支部長選任 | (資料2) | 8ページ |
| 3. 支部規則案の承認(支部長) | (資料3) | 9ページ |
| 4. 役員および評議員選任(支部長) | (資料4) | 11ページ |
| 5. 監事選任(支部長) | (資料5) | 12ページ |
| 6. 平成18年度事業計画審議(庶務幹事) | (資料6) | 13ページ |
| 7. 平成18年度予算案審議(会計幹事) | (資料7) | 14ページ |

閉 会

日本音響学会北陸支部設立経緯説明

- 2004 年度秋季大会 当時の平原副会長から北陸支部設立の打診
- 2005 年秋から準備開始
- 2006 年 4 月 7 日 世話人会および第 1 回設立準備委員会開催
(資料 1 - 1 : 準備委員会議事録)
- 2006 年 6 月 14 日 日本音響学会企画委員会にて承認
(資料 1 - 2 : 設立趣意書)
- 2006 年 6 月 20 日 日本音響学会臨時理事会にて承認
- 2006 年 9 月 14 日 設立総会, 記念式典

第 1 回日本音響学会北陸支部（仮称）設立準備委員会議事録

日時 2006 年 4 月 7 日（金）18:00~19:20

場所 金沢大学自然系図書館 1 階 11 番小会議室

出席者 赤木，党，船田，西川，野村，得永，山田，谷口，山淵，金寺，鶴木（敬称略，順不同）

議事録 鶴木

議題

(0) 経過報告

* 日本音響学会北陸支部（仮称）設立準備委員会発足までの経緯等の説明（赤木）

(1) 北陸支部設立準備委員会の体制について

* 世話人会全メンバーより，支部設立準備委員会になることを了解

* 自己紹介（船田，西川，得永，山田，谷口，山淵，金寺，党，赤木，鶴木，野村）

(2) 今後のスケジュールについて

* 北陸支部発足に向けてすべき準備事項について説明

* 日本音響学会支部通則（添付資料，下線部に注意）に従い，下記項目を至急準備する必要あり．準備後に趣意書（添付資料，九州支部資料を参考）を作成して企画委員会に提出．

(a) 北陸支部設立の目的（第 2 条）を決定すること

(b) 支部の新設（第 4 条）⇒ 20 名以上の発起人を集めること

(c) 支部規則（第 10 条）⇒ (1)~(7)を決めること

* 趣意書提出までのスケジュールについて〈スケジュールの逆算〉

(a) 9 月秋季研究発表会の時期を設立時期とする（仮定）

(b) (a)を達成するためには，6 月までの理事会で承認を得る必要あり

(c) (b)を達成するためには，5 月までの企画委員会に提出する必要あり

(d) (c)を達成するためには，趣意書を 5 月中旬までに作成する必要あり

* 北陸支部に属する音響学会会員の内訳について確認する必要あり（船田）

(3) 具代的な課題について

* 支部名称および地域の決定

支部名称：「日本音響学会北陸支部」に決定．

支部地域：石川，福井，富山 3 県に決定．

以後，本準備委員会ならびに支部名称を北陸支部と呼称．

（確認事項，赤木）信越地域を含めるのかという意見があった．支部設置の経緯にて，「発起人 100 人ということを考え，信越地域を含めることも考えられたが，独立で設置すべきという意見が多数あり，原則 100 人という枠をしたまわるが北陸支部独立での設置を考えることになった．また，北陸地区連合大会は 3 県で運営していることもあり，こちらへの参加を考慮すると 3 県であるほうが都合がよい．連合大会との共催という意味でメリットも大である．

* 発起人について

20 人以上の発起人を集める必要あり．

現在参加しているメンバーが発起人に加わってもらうことで了承．日本音響学会より名簿を取得して，発起人メンバーの候補をあげる予定．

* 支部運営のための事務所設置候補となる研究機関の決定

一つの候補地として JAIST の案．

支部長の所属する場所とする案（九州支部を参考にすると，そのようにしてある．規則上問題なし）．

引き続き検討することとした。

＊ 準備委員会委員長の選任と支部長候補の決定

準備委員会委員長として、船田先生（金沢大）が選任され、本人からも了承が得られた。支部長については、今後の議題とする。支部長候補として、船田準備委員会委員長があげられた。

＊ 趣意書の作成・提出にあたって

添付資料（支部設立の目的と具体的な支部の活動（案））をたたき台として議論。活動内容について添付資料3.～5.が一番できることである。特に、北陸支部連合大会への参加ならびに、共催研究会への後援。

2. のHPでの公開については、著作権等の問題があるかもしれないので要注意。学生等への選奨について付記する必要があるか？学生発表への積極的支援という項目に含めることでよいと思われる。

＊ 役員・評議員の人数の決定について

支部長、庶務幹事、支部会計幹事、監査、支部評議員等の人数について議論。支部長1名、副支部長（不要）、庶務幹事1名、会計1名、監査1名、評議員6名。任期は他支部規則に順ずる（原則2年。再任を妨げない。評議員は半数を改選）。

＊ 趣意書（案）の作成と枠組みについて

本日議題に上がったことをたたき台として、赤木が趣意書（案）を作成し、支部設立準備委員全員にメールにて送付。メール上の議論にて、趣意書（最終版）を完成させる予定。

＊ 北陸支部設立記念について

音響学会秋季研究発表会の特別企画とタイアップでできないか？音響学会秋季研究発表会実行委員会もタイアップでの企画に賛成。北陸支部設立記念として共同で開催できないか、継続して議論する予定。（参考意見）これまでの特別企画にて、洋楽が多かったので今度は邦楽がよいのではないかという意見が多数あった。和太鼓の案（講演＋実演の2部構成）が浮上。候補として、浅野太鼓の浅野昭利氏と木越先生（金沢大・文学）があがった。金銭面が問題となるため、研究発表会実行委員での予算とあわせ、継続審議。

以上。

(資料1-2)

平成18年6月 日

社団法人 日本音響学会
会長 鈴木 陽一 殿

北陸支部設立準備委員会
委員長 船田 哲男

北陸支部設立に関しまして、下記のとおり趣意書を作成致しましたので、宜しくお願ひ申し上げます。

記

(1) 支部の名称及び地域（県）

名 称：日本音響学会北陸支部
地域（県）：富山，石川，福井

(2) 発起人（音響学会正会員または終身会員）

	氏 名	所 属	摘 要
1	船田 哲男	金沢大学	正会員
2	西川 清	金沢大学	正会員
3	三好 義昭	金沢大学	正会員
4	野村 英之	金沢大学	正会員
5	得永 嘉昭	金沢工業大学	正会員
6	山田 真司	金沢工業大学	正会員
7	赤木 正人	北陸先端科学技術大学院大学	正会員
8	鶴木 祐史	北陸先端科学技術大学院大学	正会員
9	党 建武	北陸先端科学技術大学院大学	正会員
10	金寺 登	石川工業高等専門学校	正会員
11	森田 義則	石川工業高等専門学校	正会員
12	田村 景明	金沢工業高等専門学校	正会員
13	南出 章幸	金沢工業高等専門学校	正会員
14	漢野 救泰	石川県工業試験場	正会員
15	山淵 龍夫	富山大学	正会員
16	村井 忠邦	富山大学	正会員
17	平原 達也	富山県立大学	正会員
18	中井 満	富山県立大学	正会員
19	大谷 真	富山県立大学	正会員
20	宮林 穎夫	富山商船高等専門学校	正会員
21	谷口 秀次	福井大学	正会員
22	森川 博由	福井大学	正会員

(3) 支部会員数（概数見込）

名誉会員： 0名
終身会員： 2名

正会員： 62名
学生会員： 30名

(4) 支部運営のための事務所設置候補となる研究機関

支部長が在籍する研究機関および北陸先端科学技術大学院大学

(5) 活動計画概要（案）

当面、実施可能な活動として以下の3項目を計画する。将来、会員の相互協力体制の更なる進展を見た場合は、それに伴って活動内容を充実させていくこととする。

1. 音響学会各種研究会の開催支援、及び他学会北陸支部との連携

北陸地区で行われる音響学会の研究会、大会等に際しての協力体制の確立。

2. 北陸支部連合大会への参加ならびに、共催研究会への後援

電気関係学会北陸支部連合大会等への音響学会員としての参加のための働きかけ。これにより、会員の募集を容易にするなど、会員増を進める。

3. 学生発表、学生研究活動への積極的支援

北陸地区学生発表会への協力、優秀発表への選奨等、学生への支援を行い、学生会員の増加をはかる

以 上

[参考]

平成18年度 北陸地区 学生による研究発表会

開催期間： 平成19年3月上旬

参加人数： 約200人

会場： 石川工業高等専門学校

主催者： 電気関係学会 北陸支部学生会

担当者連絡先： 石川工業高等専門学校 電子情報工学科

実施内容等： 電気学会、電子情報通信学会、情報処理学会、
映像情報メディア学会の学生員あるいは高専生、
短大生、大学生による研究紹介

共催として、現在、電気学会、電子情報通信学会、情報処理学会、映像情報メディア学会の各学会より2～3万円程度の補助を頂いている

支部長選任

支部長候補

船田 哲男 (金沢大学)

日本音響学会北陸支部規則案

平 18.9.14 制定 (予定)

(名 称)

第 1 条 本支部は、社団法人日本音響学会北陸支部という。

(事務所)

第 2 条 本支部に事務所をおく。事務所の所在地は支部細則で定める。

(地域・構成)

第 3 条 本支部の地域は、富山県、石川県、福井県とし(以下支部地域という)、支部地域に在住する本会会員をもって構成する。

ただし、支部地域外に在住する本会会員でも、その在住する地域に支部がない場合は、希望により本支部の会員とすることができる。

(支部役員、支部評議員の構成)

第 4 条 本支部には、次の役員及び評議員をおく。

- (1) 支部長 1 名
- (2) 副支部長 1 名
- (3) 支部庶務幹事 2 名
- (4) 支部会計幹事 2 名
- (5) 支部評議員 6 名
- (6) 支部会計監査 2 名

(支部役員、支部評議員の任期)

第 5 条 支部長および副支部長の任期は 1 年とする。

- 2 支部幹事(庶務、会計)、支部評議員及び支部会計監査の任期は 2 年とする。
- 3 支部幹事、支部評議員及び支部会計監査は 1 年ごとに半数を改選するものとする。
- 4 補欠による支部役員及び支部評議員の任期は前任者の残任期間とする。

(支部役員、支部評議員の選出)

第 6 条 支部長、副支部長、支部幹事及び支部評議員は、支部正会員、支部に所属する終身会員及び名誉会員の中から互選によって選出する。

- 2 支部会計監査は、支部役員会で選出し、支部総会の承認を受けるものとする。

(支部総会)

第 7 条 支部総会は毎年 1 回、支部長が招集する。

- 2 支部長は、必要に応じ、臨時支部総会を招集することができる。
- 3 支部評議員の過半数が必要と認めた場合は、臨時支部総会を招集することができる。

(支部の事業等)

第 8 条 次の事項は支部総会の承認を受けるものとする。

- (1) 支部の事業計画及び収支予算
- (2) 支部の事業報告及び収支決算
- (3) その他支部運営に関する重要な事項

(支部役員会)

第 9 条 支部役員会は支部役員と支部評議員で構成し、支部長が招集する。

- 2 前任の支部役員並びに支部評議員は、支部長の要請により、支部役員会に出席して意見を述べることができる。

(その他)

第 10 条 この規則に定めていない事項は、本会定款並びに支部通則に準拠するものとする。

付則

- 1 この規則は平成 18 年 9 月 14 日から施行する。

支部細則

1. 支部事務所を北陸先端科学技術大学院大学におく。
2. ホームページを北陸先端科学技術大学院大学内に設置する。

役員および評議員候補紹介

役員候補

副支部長	平原 達也	富山県立大
庶務 1	赤木 正人	北陸先端大
庶務 2	大谷 真	富山県立大
会計 1	山田 真司	金沢工大
会計 2	野村 英之	金沢大

※なお、支部規則第 5 条第 3 項に基づき、上記の役員のうち庶務 1 及び会計 1 は任期 1 年、庶務 2 及び会計 2 は任期 2 年とする。

評議員候補

評議員	山淵 龍夫	富山大
	党 建武	北陸先端大
	谷口 秀次	福井大
	金寺 登	石川高専
	南出 章幸	金沢高専
	漢野 救泰	石川工業試験場

監事候補紹介

監事候補

監事

三好 義昭 金沢大

得永 嘉昭 金沢工大

平成 18 年度事業計画 (案)
(2006 年 9 月 14 日～2007 年 3 月 31 日)

本年度における本支部の活動計画は次の通りである。

1. 支部活動の早急な立ち上げ

支部初年度である本年は、支部の定常的な活動が遅滞なく行えるように、できるだけ早く支部の体制を確立することとする。

2. 音響学会各種研究会の開催支援

北陸地区で行われる音響学会の研究会、大会等の開催に際して、協力支援を行う。本年度予定されている研究会は以下のとおりである。

音楽音響研究会 (18 年 11 月)

3. 他学会北陸支部との連携、連合大会への支援

電気関係学会北陸支部連合大会への参加、他学会北陸支部との連携、ならびに、共催研究会への後援を行う。また、電気関係学会北陸支部連合大会等への音響学会員としての参加のための働きかけを行い、これにより、会員の募集を容易にするなど、会員増を進める。

本年度の電気関係学会北陸支部連合大会は、9 月 16～17 日に金沢工業大学で開催予定である。支部設立から間がないため、今年度のみ連合大会への協賛金は本部から支出するが、参加、他学会北陸支部との連携、ならびに、共催研究会への後援については、積極的ににかかわる。

4. 学生発表、学生研究活動への積極的支援

北陸地区学生発表会への協力、優秀発表への選奨等、学生への支援を行い、学生会員の増加をはかる。本年度開催予定の学生発表会は、以下のとおりである。

平成 18 年度 北陸地区 学生による研究発表会 (19 年 3 月)

会 場： 石川工業高等専門学校
主催者： 電気関係学会 北陸支部学生会

5. 支部ホームページの開設

支部のホームページを開設し、情報の発信および相互交流をはかる。

6. その他支部役員会が必要と認めた事項は、随時実施する。

資料 7 本年度予算（案）

(収入の部)	
1. 補助交付金	¥171,000
支部送付額	¥171,000
17年度源泉税支払額	¥0
当期収入合計(A)	¥171,000
支部扱い前期繰越収支差額	¥0
(源泉税本部預かり繰越額)	¥0
収入合計(B)	¥171,000
(支出の部)	
1. 事業費	¥30,000
連合大会費	¥0
連合大会業務担当関連経費	¥0
講演会・見学会費	¥0
研究会補助金	¥10,000
学生のための研究発表会	¥20,000
学生表彰	¥0
その他の事業経費	¥0
2. 事務費	¥90,000
総会経費	¥7,500
役員会費	¥2,500
文具消耗品費	¥30,000
通信印刷費	¥10,000
交通費	¥15,000
支部HP維持管理費	¥5,000
諸手数料	¥0
ネットワーク環境整備費	¥20,000
その他の管理費	¥0
3. 大会準備金等繰り入れ支出	¥0
4. 予備費	¥51,000
当期支出合計(C)	¥171,000
当期収支差額(A)-(C)	¥0
総額次期繰越収支差額(B)-(C)	¥0
源泉準備金(本部預り)	¥0
支部会計次期繰越収支差額	¥0

以上